



令和5年5月15日
第489号
新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

「Yes, I can!」～リオ・パラリンピックから～

校長 飯塚 進

応援団の子どもたちの一生懸命練習する声が、学校中に響き渡り、運動会に向けての熱気が高まってきている毎日です。毎年この時期は、子どもたちのエネルギーがみなぎり、学校は活気に満ちています。

一方で、この時期は、少しずつ生活指導上のトラブルが増えてくるのも事実です。それは、少し緊張感があった4月が終わり、学校生活に慣れるため、いい意味でも悪い意味でも自分らしさを発揮し始めるからかもしれません。もう一つとして、「運動会」が関係しているのかもしれないと感じています。

運動会は運動が得意であったり、好きであったりする子どもにとっては、楽しみなことでしょう。また、応援練習のように思いっきり大きな声を出したい人にとっては、気持ちが高揚することでしょう。しかし、その逆で、運動があまり好きでない子ども、競争することが嫌いな子ども、大きな声が苦手な子どもにとっては、この時期は苦痛を感じてしまってもおかしくありません。私たちは、そういう両方の子どもたちの気持ちを大切しながら教育活動を推進していく必要があります。

さて、子どもたちが何かに向けて頑張る時に、少しでも勇気がもらえるようなことがあるといいなと考え、リオ・パラリンピックの商業動画を紹介しました。この動画には、様々な障害を抱えている方々が、陸上や水泳、卓球やサッカーなど様々なスポーツを見事にやっている様子や、楽器を演奏したり、ダンスを踊ったりする様子が映されています。最初に拝見したときの感動が忘れられず、子どもたちに紹介しました。

この動画の中でたくさん出てくる言葉は「Yes, I can!」です。「私にはできる!と信じていることが大切」と伝えてくれていると思っています。障害がありながら、あれほどの見事な動き、演奏を見せていただくと、勇気をもらえます。尊敬の気持ちでいっぱいになります。

子どもたちも「Yes, I can!」と勇気をもって力強く過ごしてほしいです。まずは運動会を自分なりの目標に向けて頑張してほしいです。

